

夜回り

山田先生

西陵商ラグビー部元監督

3

「豪華な弁当、お金が…」しづる親ら説得



◆山田耕二(やまた・こうじ) 1942(昭和17)年5月23日生まれ。73歳。74年、西陵商ラグビー部監督に就任以降29年間で全国高校ラグビー大会に19回出場、97年には愛知県勢として史上初の優勝。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

「こんばんは、西陵商業ラグビー部の山田と申します」
「まあ先生、どうされましたか」
「お母さん、きょうは〇〇君のお弁当について少しお話があります。…あれではあまりにも量が少なすぎます。とても体が持ちません」

「そんなこといきなり言われましても…」
「日常生活にも満足な栄養さえも取れません。1日5000kcalが最低限必要なんです。栄養バランスを考えたとお弁当を作ってください」
「でも、そんなに豪華なお弁当を作れるほど、うちにお

金の余裕はありません」
「高価なものでなくてもいいんです。肉は霜降りではなくても、細切れの安いものでいいんです。魚もイワシやサバなどの青身魚でもいいんです。安くても栄養価の高いものをたくさん食べさせてやってください」

「さー」
「そんなにたくさん食べさせたら、うちの子の実力なんてたかが知れています…」
私は、ラグビーのためだけにダメ出ししたのではない。「体は社会人としての資本です。どれだけ頭が良くても美人でも、体が弱くては元

も子もありません。たくさん食べれば、それだけ丈夫にもなるんですよ。もしやのよう体になるのか、殺しても死なないような丈夫な体になるのか。どっちがいいですか」
毎日毎日、練習が終わった後に家庭訪問続け、こんな話を繰り返した。お弁当の話は、保護者に協力してもらうため奔走した毎日のひと「まにすぎない」。

「たくさん食べさせて」毎日家庭訪問

◇ 夜回りまでして高校日本一に導いた山田耕二さんと生徒とのエピソードを連載する。

昼食会で一人一人に口酸っぱく指導

山田先生

西陵商ラグビー部元監督

4



◆山田耕二(やまた・こうじ) 1942(昭和17)年5月23日生まれ。73歳。74年、西陵商ラグビー部監督に就任以降29年間で全国高校ラグビー大会に19回出場、97年には愛知県勢として史上初の優勝。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

視聴覚教室でのミーティング兼昼食会では、箸の持ち方もよく注意した。交差させて持ったり、スプーンのように握って持ったりと、おかしな持ち方のオンパレードだった。

「箸は2本のうち一本は動かさないと、おかしな持ち方のオンパレードだった。」
「箸をきちんと持つことは、日本人としてのマナーだ。誰かに会ったら「こんにちわ」。家上がる時は靴をそ

ろえる。食べる前には手をそろえて「いただきます」。こういった当たり前のことと同じなのだ。」

「な、と思われてしまう。私はいつも口酸っぱく指導した。しつけの行き届いた家庭で育った子は、箸も正しい持ち方をしている。いわゆる「放任主義」の家庭の子ほど、おかしな持ち方をしている。箸

の持ち方一つで家庭の中が見えるのだ。」
子どもは食事をたくさん与えさせれば、大きくなる。しかし「大きくなる」と「育てる」とは違う。中身をともなう成長してもらうためには、小さなことから教えていくことが大切なのだ、今あらためて思っている。

箸の持ち方一つで家庭の中が見える

基本に忠実か勝手か…箸の持ち方は一つの指標



◆山田耕二(やまた・こうじ) 1942(昭和17)年5月23日生まれ。73歳。74年、西陵商ラグビー部監督に就任以降29年間で全国高校ラグビー大会に19回出場、97年には愛知県勢として史上初の優勝。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

性格はプレーに色濃く反映される。実は、箸の持ち方もプレーの特長として現れる。さちんと箸を持って食べられる子ほど基本に忠実で正確なプレーをする。箸がちゃんと持てない子ほど、試合で簡単なミスをしてしまう傾向があるのだ。

「逆」に「放任」の家庭は、おかしな箸の持ち方をしている子が多かった。あくまで私感であるが、人と会ったら「こんにちわ」、食べる前に「いただきます」が言える子は、普段から親の言うことを素直に聞いて育っている。ラグビーのように組

織プレーが求められるスポーツも、攻撃パターンを自分流にツでは、そういった素直さで、組織としての決まりを忠実に守り、丁寧にプレーすることを可能にするのだ。

「逆」に、親の言うことを聞きかた守れない子は、周りをく、相手チームと宿が結

◇ 夜回りまでして高校日本一に導いた山田耕二さんと生徒とのエピソードを連載する。

育ち方に現れるプレーの特長

◇ 夜回りまでして高校日本一に導いた山田耕二さんと生徒とのエピソードを連載する。